

7月22日～7月28日 商品検査実績

●微生物検査 264 検体

検査の結果特に問題はありませんでした。

●理化学検査 99 検体

食品添加物検査	18 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
残留農薬検査	外部検査機関に1 検体依頼しました。検査の結果問題ありませんでした。	
簡易農薬検査	10 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
P C R 検査	畜種判別検査	6 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	GMO検査	7 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	米のDNA異種米判定	今週は実施しておりません。
	コシヒカリ品種判定	4 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
米鮮度判定	8 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
卵鮮度判定	今週は実施しておりません。	
アレルゲン検査	4 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
ヒスタミン検査	10 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
アフラトキシン(カビ毒)	今週は実施しておりません。	
放射性物質検査(スペクトロメータ※①)	16 検体(米8 検体、野菜8 検体) 実施しました。全て検出下限値(約 20Bq/kg) 以下となりました。	
放射性物質検査(サーベイメータ※②)	15 検体(野菜7 検体、果物5 検体、きのこ3 検体) 実施しました。バックグラウンドとの差異が3※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド) 以内となりました。	

- ・ヒスタミン検査=ヒスタミンによる食中毒は、アレルギー様食中毒の一つであり、鮮度の低下したマグロやカツオ、サバなどの赤身魚やその加工品が原因となることが多いため、検査でヒスタミンの濃度を測定します。
- ・アフラトキシン=アスペルギルス属の一部のカビが産生するカビ毒で肝臓がんの原因の一つと考えられています。アフラトキシンが作られる最適条件は、温度 30℃前後、湿度 95%以上であるため、高温多湿の熱帯地方等が最も適しています。輸入食品の安全性に関わるため、日本では、輸入時に行う抜き取りのカビ毒検査やカビそのものが生育していないか外見上の検査を実施しています。なお、日本国内で、食品にアフラトキシン汚染が起きる可能性は低いものと考えられています。

※①NaI シンチレーションスペクトロメータ: 遮蔽体付検査機器で核種を特定できるもの: ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 を測定

※②NaI シンチレーションサーベイメータ: 遮蔽体無ししよへいたいの持ち運びできる機器: ガンマ線総量を測定

※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド): 1秒間に対象となるものから何回放射性物質が放出されているか測定するものです。奈良県行政と同様にバックグラウンド(放射線測定の際の測定対象以外からの放射線で宇宙線や天然の放射性物質に起因する)との差異を3以内としました。

組合員さんの

## 想いにこたえて

みなさんから寄せられた声を商品・運用にいかす取り組みをしています。



組合員さん VOICE

以前に案内があった「さがきピーラー達彩」は、左右どちらの手でも使えます。左利きでもとても使いやすいので、ぜひ案内してほしい。

## 実現しました

商品のリクエストをいただきありがとうございます。「さがきピーラー達彩」は、しばらく案内できておりませんでしたが、ご要望をいただいたことから、

8月5回のくらしのパートナーで案内いたします。この商品は両側に刃がついているので、右利き、左利きを問わずご利用いただけます。この機会にぜひご利用をお願いいたします。今後ともお気づきの点や、ご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。



収納時に便利な刃キャップ付き

## 今月のお知らせ 夏に多い細菌性食中毒を防ぎましょう

気温や湿度が高くなる6月～10月頃は、サルモネラ属菌や、カンピロバクターなどの細菌による食中毒の発生が多くなります。細菌による食中毒を防ぐためには次のことに十分な注意が必要です。



**「つけない」**  
…洗う、分ける  
調理の前の手洗い、包丁・まな板の殺菌、タオルやフキンは清潔にし乾燥させる。



**「増やさない」**  
…低温で保管  
生ものは作り置きしない、必要な量を購入し冷蔵庫・冷凍庫へ。詰め過ぎないように注意。



**「やっつける」**  
…中までしっかり加熱  
生焼けにならないよう、食品の中心まで十分加熱する。



## 商品検査レポート 6月に実施した商品検査の結果をご案内します。

毎月の検査結果はHPにも記載しています。▶ <http://www.naracoop.or.jp/goods/letter/kensadayori.html>

<b>微生物検査</b>	検査数 981	特に問題なる商品はありませんでした。								
<b>理化学検査</b>	検査数 366	主な検査項目	食品添加物 69	簡易農薬 54	畜種判定 7	残留農薬 (外務省基準値～50%) 14	ヒスタミン 39	カビ毒 4	検査の結果、いずれも問題ありませんでした。	
<b>放射性物質検査</b> (NaIシンチレーションスペクトロメータ※①)	検査数 54	米	野菜	果物	牛乳	鶏卵	水産	冷蔵日記	飲料	検査の結果、全て検出下限値(20Bq/kg)以下でした。
		9	15	9	9	4	5	2	1	
<b>放射性物質検査</b> (NaIシンチレーションサーベイメータ※②)	検査数 15	野菜	果物	きのこ	検査の結果、全てバックグラウンドとの差異が※③3kcps(キロ・カウント・パー・セカンド)以内となりました。					
		6	5	4						

※①NaI(エヌイーアイ)シンチレーションスペクトロメータ: 遮蔽体(しゃへいたい)付検出器で核種を特定できるもの: ヨウ素131、セシウム134、セシウム137を測定

※②NaIシンチレーションサーベイメータ: 遮蔽体無しを持ち運びできる機器: ガンマ線総量を測定

※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド): 1秒間に対象となるものから何

回放射性物質が放出されているか測定するものです。奈良県行政と同様にバックグラウンド(放射線測定の際の測定対象以外からの放射線)で宇宙線や天然の放射性物質(起因する)との差異を3以内としました。NaIシンチレーションサーベイメータではガンマ線総量を測定し、検出が疑われる場合は、NaIシンチレーションスペクトロメータで確認検査を行うこととしています。

